

月刊 新翔タイムズ

第65号 新翔タイムズ 編集室 発行・熊野新聞社

防災スクールの実施

地域防災の担い手に



防災スクールは、近い将来予想される南海トラフ地震をはじめ、自然災害に備えて高校生の防災への意識を高め、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年の育成を目的として実施している。

その事前学習として、和歌山県が実施している「出張！県政おはなし講座」を11月21日に行った。当日の12月6日は1年生とみくまの支援学校の参加に加え、育友会や左野区の方々の協力を得ながら、パテーシヨンの設置および防災実技(応急手当、心肺蘇生法、搬送法、避難所運営訓練、炊き出し・配膳訓練)の3班に分かれ実施した。1班では、教員の指導



により、パテーシヨンの設置および解体を体育館で行った。その後、3つのグループに分かれ、防災実技に取り組んだ。このときの先生役は、各クラスの防災委員が務めた。体育館では、みくまの支援学校の生徒を交えた。三角巾を利用した止血法を行った。キャリア実習室では、レザリアンやAEDトレーナーを使って心肺蘇生法を行った。武道場では、けが人を安全



に運ぶための搬送法を行った。2班では、生徒・佐野区・教員が避難所運営の模擬体験を会議室で行った。訓練で使用した資料は、県より借用したもの。参考として作成したもので、避難所は本校の体育館・武道場・教室を想定した。また、避難者の内容を示したカードにはなじみのある地区名を使用した。3班では、生徒・保護者・教員が協力してアルファ化米を使用した炊き出し・配膳訓練に取り組んだ。当日の参加者分である202食のアルファ化米の炊き出しを調理教室で行い、それを食堂に運び参加者に手渡す配膳訓練を行った。

アンケート結果から、

「体験内容はためになった」と参加者のほとんどの人が回答した。また、その他の記述として、「アルファ化米はおもしろかった」「協力的にやっていた」「人が倒れていたら、助けると思う」「保護者がいてくれて良かった」「全ての体験をした方がいい」といったものがあった。他に「避難所運営マニュアルの作成」や「備蓄品の準備」をしていくべきといった指摘もあった。

今年も大活躍！

高校生よみかたりボランティア



この事業も今年度で10年という節目の年を迎えました。今年度も昨年度に引き続き、三輪崎小学校、宇久井小学校、太地小学校との交流活動を行いました。それぞれの学校での様子をまとめてみました。

12月12日、三輪崎小学校へ行き、1年生、2年生、3年生計8クラスと交流しました。初回ということで、少し緊張していたボランティアの皆さんでしたが、徐々に解け、リラックスしてよみか

り、この日は山田てらみ先生が見守ってくださいました。2回目ということもあり、余裕をもって交流できたこと、良かったです。最後の交流活動は12月17日、太地小学校で、1年生、2年生、3年生と交流。3回目になると、小学生一人一人の顔をみながら、また笑顔でよみかたりをすることができました。終了後に山田伊藤先生から今年度のまとめとこのことばをお話していただきました。小学生とのやりとりが上手だった。選本が良かったなど、たくさん褒めていただきました。また、来年度に向けての課題も

相手尊重し、思いやりの心を

2学年 DV防止講座



11月21日6限、ウィメンズステーションの村上恵美子氏を講師に招いて「デートDV(ドメスティックバイオレンス)防止講座」を、2学年を対象に開いた。配偶者や恋人など近しい関係にある異性への暴力を中心に、デートDVにならない恋愛観について、「別れに

同意はもらえない」「嫉妬の権利はない」「束縛しない」などと説明。講演の途中では、恋人同士に扮(ふん)した教員が、デートDVに当たるような、一方的に相手を手束縛しようとする場合と、相手をお互いに尊重し、デートDVには当たらない場合の寸劇を行った。最後に、デートDVに遭っている場合は誰かに相談することが大事、またお互い対等に相手尊重し、思いやりの心を持つことが大事だと締めくくった。

衣服の着脱など体験

3学年 介護体験



13人の生徒が参加した。実習は介護ベッドを使い、衣服の着脱やベッドから車椅子、車椅子からベッドへの移動を行った。生徒たちは介護をする側、される側の両方を体験した。「衣服の着脱」というのは実際にやってみると難しい。まずは右半身から寝巻きを半分着せ、残りの左半身の袖を通す

のだが、手首を曲げられる範囲は限られているため、自分ではどうもできない。介護体験を通して、生徒たちはあらためて介護を行う難しさを感じた。同時に、介護を学ぶ意味をあらためて理解した実習であった。

高潮堤工事の現場へ

建設技術系列選択生 現地学習

12月9日、10日に、本校建設技術系列の3年生と2年生(計22人)を対象に、熊野川河口(三重

県紀宝町鶴殿地先)において施工中の高潮堤工事の現場見学を行った。

国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所職員の事業概要説明に引き続き、施工業者である(株)田中建設職員より、工事手順などの具体的な説明を受けながら、現場内を見学した。

先生の紹介



金丸 央先生

皆さん、こんにちは。金丸央(かなまる・ひさし)です。教科は、商業です。私は、商業高校の出身で、大学院を卒業す

るまでずっと商業に関する科目、特に簿記会計の勉強をしてきました。担当しているクラスでは簿記を苦手科目としている生徒も多いように思いますが、問題をやり終えて数字が一致したときのすっきりとした気分を味わえるくらいになるまで一生懸命に取り組んでもらいたいと思います。

たいと思います。簿記の科目を含め、多くの商業科目は検定があります。自分自身の努力の結果が検定取得という形で表れてきます。その努力が3年生になったときの進路選択の幅を広げてくれることにもつながります。授業を選択して取得可能な検定がある方はできる限り受験し、自分の能力を証明するもの一つでも増やしてほしいと思います。

運動面では、中学校・高校とハンドボール部に所属していました。マイナーなスポーツですが、来ない方も多いと思いますが、相手との接触が多く、とても激しいスポーツです。また、攻守の入れ替わりも激しいので、とても目が離せないスポーツです。新翔高校にはハンドボール部もあるのですが、ぜひハンドボールの試合を見て、その良さを知ってもらいたいと思います。

います。現在、新翔高校では陸上部の顧問をしています。先日行われた天空マラソンにも10kmではありますが、部員と共に参加して無事に完了しました。もう少し体を鍛えて、来年も機会があれば距離の長いハーフマラソンの方に挑戦したいと思っています。

まだまだ不慣れな部分も多々あるかと思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



12月19日、1年生が新宮ユネスコ協会会長の中谷剛氏、事務局局長西田晴嵐氏より講演をしていただいた。講演の内容はユネスコの活動や世界遺産を通して平和について考え、ボランティア活動など自分のできることを考えるもの。生徒たちが他者との違いを認め、尊重することの大切さや、人のために何が出来るかを考える姿勢について学ぶ機会となった。

ボランティア活動など 新宮ユネスコ協会が講演

収穫やジャム作り体験 北山村で「じゃばら学習」

11月20日に2年生地域文化系列選択生は北山村に向き体験学習を実施した。ジャバラの収穫やジャム作り、奥静温泉の薪割りや木の皮むきなどさまざまな体験をさせ

ていただいた。生徒たちは「皮むきはすごく力があるのにこれを何百本もやっているとはすごいと思った」とや「自分たちが収穫したジャバラをジャムにできてとってもよかった」など、それぞれに感動を持ち帰った。



次は1月25日(土)のマグロ祭への参加である。地域のために自分たちに何ができるのかを考えていきたい。